

過去の受賞事例一覧（H19～R3）

1 意欲溢れる攻めの農林水産業賞（H19～H30）

年度	賞	受賞者	内容
平成 19年度 (応募9) (受賞9)	最優秀賞	八甲田農業協同組合 肥育牛部会 (十和田市)	肥育牛の血液検査など科学的データに基づく適切な栄養管理とたゆまぬ技術研さんによって、十和田湖牛の高品質化はもとより、県産牛の評価向上に大きく寄与しています。
	優秀賞	十和田市農業協同組合 野菜部会 (十和田市)	土壌分析に基づくミネラル野菜への取組と、土付きにんにくの契約栽培という新たな販路開拓により、省力化と収益性向上に大きな効果を発揮しています。
		はまなす農協 いちご部会 (むつ市(東通村))	夏季冷涼な気候を生かした夏秋どりいちごにいち早く着目し、短い期間に栽培技術の高度化と作付拡大を図り、下北地域の新たな産地づくりに大きく寄与しています。
	奨励賞	なみおか「豆や」 (青森市)	地場産の大豆を主体とした商品開発や販売方法に工夫を凝らした生産から加工・販売まで一体となった起業化と地域独特の豊かな食文化の伝承に取り組んでいます。
		サンフェスタいしかわ 友の会とうふ部会 (弘前市)	地元の大豆を生かした豆腐の加工・販売に挑戦し、自らの高い収益の実現はもとより、転作田での大豆生産の拡大や雇用の増大により地域の収入アップに寄与しています。
		舘町野菜生産組合 (五戸町)	にんにくの高付加価値化を追求し、エコファーマーや特別栽培への取組はもとより、氷温貯蔵処理による生産・販売で収益性の高い農業の実現に取り組んでいます。
		八戸鮫浦漁業協同組合 (八戸市)	地域住民に親しまれているすき昆布を新たにヘルシーニーズに応える缶詰として商品化し、独自に販路を開拓するなど地域に根ざした特産品の開発に取り組んでいます。
		道の駅つるた 「鶴の里あるじゃ」 (鶴田町)	地元の米や大豆・小麦を使用した数多くの加工品を開発し、学校給食の提供をはじめ販売量を大きく拡大、地産地消はもとより地域の農業生産と活性化に寄与しています。
		川内町漁業協同組合 (むつ市)	養殖が難しいアカガイの生産安定化を実現し、大型貝の出荷を徹底するなど適切な養殖管理による生産量の増加や品質の向上に努め、ブランド化に取り組んでいます。
20年度 (応募7) (受賞7)	最優秀賞	野辺地町漁業協同組合 (野辺地町)	活ほたて貝の産地直送とトレーサビリティシステムをいち早く確立し、販売量の拡大と収益向上を図り、県産ほたての評価向上に大きく寄与しています。
	優秀賞	常盤村養鶏 農業協同組合 (藤崎町)	養鶏の飼料に地元産の米を活用する新たな生産方式によって、鶏卵の高付加価値化に取り組むとともに、地域一体となった耕畜の連携を進め、水田の有効活用に大きく寄与しています。

年度	賞	受賞者	内容
20 年度	優秀賞	つがるにしきた農協 つがるやさい部会 ブロッコリー班 (つがる市)	水田転作にブロッコリーを導入し、氷詰出荷技術を生かした商品性の向上を図るとともに、大幅な作付拡大に取り組み、西北地域の新たな産地づくりに大きく寄与しています。
	奨励賞	まべち農業協同組合 ゼネラル・レクレー ク部会(南部町)	新たな洋なしを導入し、徹底した品質管理と厳選出荷による高級果物としてのブランドの確立を図るとともに、加工品の開発販売による収益力の向上に努めています。
		小川原湖漁業協同組合 (東北町)	特産しじみのトレーサビリティシステムを導入し、「小川原湖産」としてのブランド化に取り組み、県産しじみの信頼性向上に努めています。
		折田 正勝 (十和田市)	本県基幹種雄牛との交配により、優良子牛を産する高能力な繁殖雌牛群の整備と改良をはじめ、産肉能力の高い素牛づくりに努め、県産肉用牛の評価向上に寄与しています。
		北彩漁業生産組合 (むつ市)	困難を極めたドナルドソンニジマスの養殖技術を確立し、鮮度の保持と幾多の加工品開発に努め、「海峡サーモン」のブランド化に取り組んでいます。
21 年度 (応募 8) (受賞 6)	最優秀賞	野辺地町農業協同組合 野菜振興委員会 こかぶ部会 (野辺地町)	葉つきこかぶの長期安定出荷に向け、計画的な施設導入と労働力の活用の体制づくりに努め、産地拡大とブランド化はもとより県産野菜の評価向上に大きく寄与しています。
	優秀賞	あおもり倉石牛 銘柄推進協議会 (五戸町)	肥育技術のたゆまぬ研鑽と、地域一丸となった消費宣伝や産地規模の拡大に努め、倉石牛のブランド化はもとより県産牛の評価向上に大きく寄与しています。
		JAアグリマーケット 八菜館八菜館友の 会(八戸市)	直売所の店舗づくりと品揃えに創意工夫を凝らすとともに、地元量販店との連携も進め、飛躍的な収益向上はもとより、地域農業の活性化に大きく寄与しています。
	奨励賞	農業生産法人(有) エムケイヴィンヤード (むつ市)	本州最北の下北地域で醸造用ぶどうの栽培を成功させ、地元ワイナリーと連携した品種や商品の開発に努め、地域の新たな産業づくりと雇用の拡大に取り組んでいます。
		バサラコーン生産 グループ(青森市)	スイートコーンの良食味で高品質な生産と地元での消費宣伝活動など、新たな品目の産地化と収益性の高い農業の実現に取り組んでいます。
		りんご工房 佐藤 芳子 (弘前市)	オリジナル性に富むりんごの草木染めをはじめ、地元の資源を活かした起業活動を展開し、農村地域における新たな事業分野の可能性を広げています。

年度	賞	受賞者	内容
22年度 (応募7) (受賞7)	最優秀賞	福士 武造 (青森市)	米の有機栽培と独自ブランドでの販売、省力・低コストと高単収を実現できる独自の「地下かんがい法」を開発するなど、創意工夫により大幅な収益向上を実現しています。
	優秀賞	有限会社白龍産業 つがる女性加工部 (つがる市)	加工品づくりによる地元農産物の付加価値向上はもとより、世代を超えて愛される味への創意工夫で、郷土料理の伝承に大きく寄与しています。
		観光農園 アグリおいらせ (おいらせ町)	熱帯果樹の栽培や地元農産物を扱う直売所等の開設で、観光拠点としての地位確立はもとより、障がい者の雇用などで農業の新たな可能性を拓いています。
	奨励賞	株式会社アップル ファクトリージャパン (平川市)	独自の褐変防止技術を活用したカットりんごの商品化に成功し、学校給食からホテルまで幅広い需要を開拓するとともに、地域の雇用創出に貢献しています。
		JA八戸野菜総合部会 いちご・夏秋いちご専門部 夏 秋いちご八戸支部(八戸市)	これまでの冬春いちごの生産に加え、夏秋いちごの高品質安定生産に取り組み、新たな品目の産地化と収益性の高い農業の実現に取り組んでいます。
		村越シャモロックパ ーク(五戸町)	元気な鶏を育てるこだわりの生産はもとより、直営店の経営や首都圏を中心とした営業活動による販路開拓などを通し、青森シャモロックの評価向上に取り組んでいます。
		そば処 田や (東通村)	商標登録等の特徴ある加工品づくりによる地元農産物の付加価値向上はもとより、地域住民と一体となった東通村のそば文化の継承活動をけん引しています。
23年度 (応募8) (受賞5)	最優秀賞	百石漁業協同組合 小型船部会 (おいらせ町)	ホッキ貝の漁獲制限等の資源管理に取り組み、生産を安定させるとともに、5人1組の共同操業を実践して収益を高め、次代を担う後継者の育成を実現しています。
	優秀賞	農業生産法人 有限会社 ANEKKO (弘前市)	レストランを併設した直売所の開設と嶽きみの加工品開発などにより、地元農産物の付加価値を高めているほか、各種イベントなどの取組で地域活性化に大きく貢献しています。
		有限会社 ケイホットライス (中泊町)	特別栽培米や新形質米などの生産と自社ブランドによる多様な販路の開拓で収益性の向上を図るとともに、作付困難となった水田の受託作業などで地域にも貢献しています。
	奨励賞	津軽苺出荷組合 (田舎館村)	夏秋いちごの天敵を利用した栽培や直接取引による県内外での販路拡大などにより、産地の確立に努めるとともに、研修生を積極的に受け入れ、担い手の育成にも取り組んでいます。
		青森県森林組合連合会 (青森市)	船舶を活用した大量輸送でコストの削減に取り組むとともに、品質が低く国内需要が少ない木材の中国輸出を実現し、森林所有者の所得向上に取り組んでいます。

年度	賞	受賞者	内容
24年度 (応募6) (受賞6)	最優秀賞	海の駅農産物直売所 「あじ・彩・感」 倶楽部(鮭ヶ沢町)	地域の販売拠点として会員の所得向上に貢献していることに加え、マスコットキャラクターによるPR活動、学校給食への食材提供、さらには農業体験や食育活動など、幅広い取組により地域活性化に貢献しています。
	優秀賞	大柳 壽憲 (青森市)	借地や作業受託等で水稲の作付面積を拡大し、稲作と施設園芸を組み合わせた大規模複合経営を確立するとともに、特別栽培農産物の契約栽培や独自ブランド米の販路拡大により収益性アップを実現しています。
		貝守やまゆり会 (三戸町)	地区全戸加入による一丸となった加工品の生産・販売に取り組み、収益性アップと雇用の場づくりを実現していることに加え、地域の固い絆の下、伝統ある食文化を若い世代へ伝承しています。
	奨励賞	工房「お菓子の家」 佐藤 睦子 (黒石市)	家族経営協定による役割分担の下、自家製りんごを原料とするアップルパイをはじめとした加工部門を導入し、直売所はもとより地元スーパーや観光施設等へ積極的に販路を拡大しています。
		おいらせ農業協同組合 やさい推進委員会 ごぼう部会 (三沢市)	ごぼう生産の機械化体系や長期出荷体制を確立するとともに、契約栽培による価格の安定化、GAPの導入等による安全・安心志向への対応、さらには多様な加工品の開発など、本県のごぼう生産をリードする取組を行っています。
		生活改善グループ 大間風(大間町)	地元産の原材料にこだわった数々の加工品の開発・販売や、大間マグロをテーマとした観光ガイドの活動により地域の魅力発信と地域資源の有効活用が図り、地域活性化に貢献しています。
25年度 (応募8) (受賞7) (特別1)	最優秀賞	むつ市・川内町・ 脇野沢村3漁協 協議会(むつ市)	漁協の枠を超えた活ホタテガイの販売体制を確立し、陸奥湾平均を上回る単価での取引を実現するとともに、資材発注、加工品開発、販売・PR活動などの共同・協業化により収益性の向上に努めています。
	優秀賞	飯塚 久雄 (青森市)	借地等による稲作の規模拡大を進め、直播栽培や育苗跡地を活用したトマト栽培の導入など、収益性の高い大規模稲作経営を実践するとともに、取引先のニーズに応じながら多様な販路を開拓しています。
		佐藤 イネ子 (中泊町)	水稲と施設園芸の複合経営を実践し、所得向上につなげるとともに、トマトの定植用穴掘機等の開発や廃油暖房機の導入による省力化・低コスト化、オーナー制やネット販売による顧客の獲得などを実践しています。

年度	賞	受賞者	内容
25 年度	奨励賞	田舎館苺研究会 (田舎館村)	廃油と灯油を混合したエマルジョン燃料の供給体制を整備し、燃油コストを大幅に削減するとともに、栽培品種を2品種に絞り込むことで、販売ロットを拡大し、生産量増と品質向上を実現しています。
		株式会社 白神フードサービス (深浦町)	日本海沿岸で採れる海草の「えご草」を地元漁協などから買い上げ、独自のアイデアでスイーツに加工するなど、地域の6次産業化の中核となり、漁業者の所得向上と地元雇用の創出に寄与しています。
		三戸地方黒毛和種 育種組合 (田子町)	第10回全国和牛能力共進会で本県初の特別賞となる「乳徴賞」を受賞し、和牛産地としての本県の評価を高めるとともに、地域性を重視した系統造成や地産地消の推進により農家の所得向上に寄与しています。
		有限会社其田農園 (五所川原市)	ながいもとトマトを経営の柱に位置付け、砂丘地の開畑を取得し、大規模野菜経営を確立するとともに、生協や通販業者、直売所、農協出荷など多角的な販売展開により経営の安定化を実現しています。
26 年度 (応募6) (受賞5)	最優秀賞	アグリネット21 (東北町)	若手・中堅農家で野菜生産組織を結成し、市況に左右されない契約栽培への転換と地元農協との連携により独自ブランドを確立して有利販売を実現するとともに、若手農家の育成に努めるなど地域農業のけん引役として貢献しています。
		優秀賞	石黒 司 (黒石市)
		風間浦村きあんこう 資源管理協議会 (風間浦村)	3漁協が連携したキアンコウの資源管理によって平均単価の向上と販売額の増加を実現するとともに、村内の商工・観光関係者と連携した6次産業化や観光イベントでの活用など地域産業全体の活性化に貢献しています。
	奨励賞	農事組合法人 嘉瀬生産組合 (五所川原市)	転作大豆の団地化によるコスト低減を実現し、法人化で生産体制を強化するとともに、他組織と連携した大豆焼酎の商品化や空き店舗を活用した直売所運営など多角的な経営の実践により地域の活性化に貢献しています。
		農事組合法人 羽白開発(青森市)	藍栽培の機械化による低コスト化を実現するとともに、あおもり藍産業協同組合と連携した藍製品のブランド化の推進、大学や地元銀行など多様な分野との連携・協働により地域の活性化に貢献しています。

年度	賞	受賞者	内容
27年度 (応募5) (受賞5)	最優秀賞	福澤 秀雄 (十和田市)	飼料用稲生産にいち早く着目し、低コスト化や稲ソフトグレインサイレージの活用自ら研究を重ね地域に技術を普及するとともに、営農組織「SGSフロンティア十和田」を立ち上げ担い手育成や耕畜連携拡大に努めるなど、地域農業のけん引役として貢献しています。
	優秀賞	青森観光りんご園 (青森市)	観光りんご園を主体として、家族経営協定に基づき二世代で役割分担しながら多角的な農業経営を展開するとともに、通年で地元雇用を生み出すなど地域の活性化に貢献しています。
		農事組合法人 滝本水稻生産組合 (平川市)	地域農業の担い手として、水稻や大豆の大規模経営に加えて、地域内の農商工連携による6次産業化の実践や雇用創出などの企業的集落営農の展開により、地域の活性化に貢献しています。
	奨励賞	蝦名 正雄 (むつ市)	施設栽培において、農業クラウドサービスによる自動環境制御など先進技術の積極的な活用により省力・低コスト化を図り、大規模施設園芸を実現するとともに、就農希望者を積極的に受け入れ下北地域における担い手育成に取り組んでいます。
		十三漁業協同組合 (五所川原市)	シジミにいち早くトレーサビリティを導入し、安全安心な供給体制を確立するとともに、冷凍シジミの商品化により漁業者の所得向上を図るとともに、地元雇用を生み出すなど、地域の活性化に貢献しています。
28年度 (応募7) (受賞7)	最優秀賞	深浦マグロ料理 推進協議会 (深浦町)	漁獲量が多い深浦マグロに着目し、三種類の食べ方で味わう「深浦マグロスステーキ丼」の商品化により知名度向上を果たすとともに、「食」を観光資源に加えることで交流人口の拡大につなげるなど、地元には大きな経済効果を生み出し、地域の活性化に貢献しています。
	優秀賞	十和田おいらせ農業 協同組合野菜振興会 ももいし支部 (おいらせ町)	重量野菜であるだいこんの収穫作業を受託し、農業の課題である高齢化や労働力不足に対応した産地づくりを進めるとともに、地元雇用を生み出すなど、地域の活性化に貢献しています。
		川内町漁業協同組合 (むつ市)	湾内で最も早くナマコの資源管理に取り組むとともに、乾燥ナマコの独自製造技術の開発による国内外への販路拡大や卵巣を高級食材として商品化するなど、漁業者の所得向上や地元雇用の拡大に貢献しています。

年度	賞	受賞者	内容
28 年度	奨励賞	農事組合法人 上小国ファーム (外ヶ浜町)	ほ場整備を契機に農地集積を進め、県内の集落営農のモデルとなる「一集落一農場」を実現するとともに、夏秋いちごなど高収益作物の導入により雇用創出と収益確保を図っています。
		青森オリジナルメロン 生産連絡協議会 (弘前市)	品種特性に応じて、栽培指導から流通販売までの一体的な取組によりメロンのブランド確立と農業者の所得向上を図るとともに、高等学校においてメロン栽培の指導を行うなど担い手育成にも貢献しています。
		三八地方森林組合 (五戸町) 八戸市森林組合 (八戸市) 上北森林組合 (七戸町)	三つの森林組合が連携した丸太の供給や試験研究機関が行った品質確保により公共建築物への木材製品の供給体制を構築し、地域材の有効利用と林業の振興に貢献しています。
		ニッコーテクノ株式会社 障害者雇用推進事業部 キノコ栽培農園 (八戸市)	障がい者が理解しやすい作業環境を整えることでしいたけ生産における農福連携を推進するとともに、原木しいたけの通年出荷の強みを生かして販路を確立するなど、地域の活性化に貢献しています。
29 年度 (応募 7) (受賞 7)	最優秀賞	つがる弘前農業協同組合 ミニトマト部会 (弘前市)	りんごと稲作が主体の地域で、複合経営の高収益作物としてミニトマトの産地化に取り組み、新規生産者の確保と早期育成を効率的に進めて生産拡大を図り、販売額が5億円を超えるなど地域の活性化に貢献しています。
		津軽みらい農業協同組合 ミニトマト部会 (平川市)	
	優秀賞	株式会社松山ハーブ農園 (青森市)	栽培したハーブや野菜を収穫体験型レストランで提供しているほか、黒にんにくの加工・販売や輸出に取り組むなど企業的農業を実践するとともに、障がい者福祉施設との農福連携など地域に貢献しています。
		村田 睦夫 (東通村)	下北地域で初めて夏秋いちごを導入し、栽培技術の改善に取り組み、着実に販売額を増加させているとともに、地域のいちご部会長として新規就農者の指導や就農後の技術相談など担い手育成にも貢献しています。
奨励賞	青森トレーディング株式会社 (弘前市)	りんごの台湾以外への輸出先に加え、メロンやぶどうなど新たな輸出品目の拡大に尽力するとともに、生産者に海外の流通情報を発信し、輸出に向けた生産意欲を向上させるなど、地域の産業力強化に貢献しています。	

年度	賞	受賞者	内容
29年度	奨励賞	漆畑畜産 (十和田市)	肉用牛の一貫経営を中心に、粗飼料の生産・販売や焼肉店の営業など、経営の複合化を実現するとともに、粗飼料を地域の農家へ提供し、地域全体の飼料自給率向上に貢献しているほか、地元産牛肉の消費拡大に尽力しています。
		三八地域県産材で 家を建てる会 (五戸町)	多様な業種が連携した県産材の魅力発信や首都圏への積極的な販路開拓を展開し、地域材の利用拡大に貢献しているほか、津波と戦ったクロマツでベンチを製作し保育園等に寄贈するなど地域貢献にも尽力しています。
		八戸農業協同組合果樹 総合部会桃専門部 (三戸町)	生産者ごとの糖度や着色など選果データを生かした個別指導により、高糖度桃の産地化とブランド化を実現し、農業者の所得向上と地域の雇用拡大に貢献しています。
30年度 (応募6) (受賞6)	最優秀賞	中泊町農産物加工 販売施設出荷者協 議会(中泊町)	民間企業と連携して中泊町特産物直売所「ピュア」の魅力ある店舗づくりや商品開発などに取り組み、来客数や販売額の増大を実現するとともに、高齢会員への集荷サービスや買物支援など人口減少社会に対応した産地直売施設運営のモデルとなる先進的な取組を実践し、地域の活性化に貢献しています。
	優秀賞	つがる弘前農業協同組 合桃部会 (弘前市)	りんごに次ぐ果樹の品目として、ももの産地化に相互に連携して取り組み、新規作付者の確保や品質向上に努めるとともに、ブランド化や販路拡大を進め販売額が一億円を超えるなど生産者の所得向上と地域の活性化に貢献しています。
		津軽みらい農業協同組 合もも生産協議会 (平川市)	
			三上 紘史 (青森市)
	奨励賞	東通ヒラメ料理推進 協議会 (東通村)	東通村の主力魚種である天然ヒラメに着目して、その付加価値を高める「東通天然ヒラメ刺身重」の開発により、ブランド化や販売促進を図るとともに、多様な手法による情報発信を進め知名度の向上や交流人口の拡大に結びつけるなど地域活性化に貢献しています。

年度	賞	受賞者	内 容
30 年度	奨励賞	有限会社みらい天間林(七戸町)	離農農家からの農地集積による経営規模の拡大と、省力化技術や新品種の導入を進め、施設園芸との大規模複合経営を実現するとともに、基幹作業の受託による地域農業者の支援を通じて、耕作放棄地の発生防止や農村集落の維持・発展に貢献しています。
		仲良しいたけ会(新郷村)	新郷村の村有林に生育するナラの木を活用した高品質の原木しいたけ生産を地区の高齢者の経済活動として定着させ、生きがいつくりにつなげるとともに、地産地消や食育にも寄与するなど地域の活性化に貢献しています。

2 青森県攻めの農林水産業賞

年度	部門/賞	受賞者	内 容
令和 元年度 (応募 7) (受賞 7)	<収益力強化部門>		
	大 賞	タムラファーム株式会社 (弘前市)	高品質りんご生産を基礎として加工部門の強化と独自の販路開拓により販売額を増大させるとともに、自社ブランドのシードルが国際コンクールで最高賞を獲得し、「シードルの街・弘前」の知名度の向上に寄与するなど、地域農業の活性化に貢献しています。
	大 賞	株式会社グリーンソウル (十和田市)	地域の信頼を得て、農地の集約化を進め、計画的な機械・施設の導入や作業工程の効率化等により大規模野菜経営を実現するとともに、従業員に配慮した働きやすい職場環境の整備や就労条件の改善を実践し、地域農業をけん引しています。
	特別賞	留目秀樹(南部町)	りんごの省力栽培とおうとうの加温栽培の導入等により収益性の高い果樹複合経営を実現するとともに、おうとう新品種ジュノハートのブランド化の取組に中心的な役割を果たすなど、地域農業の維持発展に貢献しています。
	奨励賞	つがるメロン協議会 (つがる市)	メロンを販売する2農協の集荷・選別の一元化や出荷規格の統一により有利販売を実現するとともに、生産者への選果データの提供による高品質生産やブランド化への取組により、生産者の所得向上と地域農業の維持発展に貢献しています。
	<農山漁村づくり部門>		
大賞	原英輔(むつ市)	酪農を営みながら地産地消の推進や体験型イベントの定着等により農業の魅力を発信し、交流人口の拡大に寄与するとともに、中高生等への職業紹介や「下北ジオパーク」への協力など、地元に着目した活動により、下北地域の活性化に貢献しています。	

令和 元年度	<農山漁村づくり部門>		
	奨励賞	蓬田トマト加工グループ(蓬田村)	長年にわたって蓬田村産トマトにこだわった付加価値の高いトマト加工品の開発製造に取り組み、村を代表する商品に高めるとともに、児童の食育体験や消費者の収穫体験の受入れに協力するなど、地域の活性化に貢献しています。
	奨励賞	菌床しいたけおおさわ(五戸町)	夏場に品質が低下する菌床シイタケに替わる品目としてアラゲキクラゲの生産にいち早く取り組み、その普及に努めるとともに、県や五戸町に協力してアラゲキクラゲを地域資源とした活動を実践し、地域の活性化に貢献しています。
令和 2年度 (応募6) (受賞6)	<収益力強化部門>		
	大賞	おとべ農産合同会社(東北町)	やまのいも「ネバリスター」と加工用キャベツを二本柱とした大規模野菜経営において、省力化と徹底した土づくりを基本に、高品質安定生産と多様な販路開拓による有利販売を実現するとともに、地域における後継者の育成に積極的に取り組み、地域農業をけん引しています。
	奨励賞	JA 八戸野菜総合部内ピーマン専門部(五戸町)	ピーマンの新規生産者の確保と良品生産に取り組むとともに、早出し栽培や市場のニーズに対応した出荷規格の導入により有利販売を実現するなど、生産者の所得向上や地域農業の維持発展に貢献しています。
	<農山漁村づくり部門>		
	大賞	農事組合法人しみず(弘前市)	地域の遊休農地の再生や農地の集積を進め、にんにく等を組み合わせた大豆主体の複合経営を実践するとともに、りんご農家の農閑期の収入確保や農作業体験を通じた次代を担う子供たちの育成のほか、高齢者の除雪支援など幅広く活動を展開し、地域の活性化に貢献しています。
	特別賞	中泊メバル料理推進協議会(中泊町)	漁獲量県内一を誇るメバルに着目し、御当地グルメ「中泊メバル膳」を完成させ、中泊産メバルの知名度向上と交流人口の増大に寄与するとともに、小中学校の学校給食への提供を通じた漁業への理解促進や様々な関連商品の開発など、地域の活性化に貢献しています。
	特別賞	海峽ロデオ大畑(むつ市)	定置網の網起こしや漁師トークができるオリジナリティあふれるツアーを企画実践し、交流人口の拡大に寄与するとともに、下北ジオパーク見学やまち歩きなど漁業の枠を越えた大畑地区を盛り上げる活動を展開し、地域の活性化に貢献しています。
奨励賞	藤沢活性化協議会(平内町)	直売所「ふんちゃ」を開設し、地元産の農産物等の販売を通じて地域住民の交流の場として運営するとともに、町の特産品開発や伝統芸能の継承のほか、大学との連携によるインターンシップの実施など、地域づくりに貢献しています。	

令和 3年度 (応募6) (受賞6)	<収益力強化部門>		
	大賞	有限会社ナチュラルファーム(おいらせ町)	有機JAS及び特別栽培農産物の生産拡大と、それら農産物を専門とした卸売業者との契約による有利販売により、環境に配慮した付加価値の高い野菜生産と大規模経営を両立し、地域農業をけん引しています。
	特別賞	株式会社イチカワファーム(八戸市)	肉用牛の預託事業から自家生産経営への転換とともに、上質な赤身が特徴の交雑種をブランド化し、地域の飲食店へ提供することで飛躍的に売上高を増加させるなど、地域農業をけん引されています。
	奨励賞	株式会社黒滝農園(つがる市)	積極的な農地集積等による水稻の規模拡大と、高収益作物の導入による複合経営を確立するとともに、加工品の開発や多様な販路の開拓による六次産業化に取り組むなど、地域農業をけん引しています。
	<農山漁村づくり部門>		
	大賞	株式会社百姓堂本舗(弘前市)	地域の先駆けとしてシードルの製造に取り組むとともに、りんご園での各種イベントによる交流人口の拡大や非農家が新規就農する仕組みをつくるなど、本県のりんご産地を守る活動を展開し地域の活性化に貢献しています。
奨励賞	AOMORI ベビーベビー研究会(青森市)	薄皮ミニトマトの新たなブランドの確立に向けて、市村をまたぎ栽培方法と販売体制を構築したほか、販売イベントなどを通じて県産野菜の認知度向上に寄与するなど、地域の活性化に貢献しています。	
奨励賞	かざまうら産直友の会(風間浦村)	優れた品質を持つ地元産の海藻に着目し、特色ある産直施設の運営により新たな生業づくりに寄与するとともに、高齢者の見守り体制の強化につながる移動販売など、地域の活性化に貢献しています。	

3 攻めの農林水産業特別貢献賞等

年度	賞	受賞者	内容
平成 19年度	特別貢献賞	株式会社 イトーヨーカ堂	県内外の店舗において県産品フェアを開催し、地産地消の推進と県産品の全国展開を促進しているほか、県内産地との連携強化により産地育成にも力を入れているなど「攻めの農林水産業」の推進に大きく貢献しています。
		イオン株式会社	県産品フェアを県内外の店舗で毎月開催するとともに、国内外においても積極的に開催し、県産品の販売を拡大しているほか、県等と共同で県産品のブランディングに取り組み、商品化を進めるなど「攻めの農林水産業」の推進に大きく貢献しています。
		株式会社 ユニバース	県が進めている「冬の農業」のコーナーや、地域の生産者とのつながりを強化した生産者コーナーを独自に設置しているほか、県産品を会社の広報誌で積極的に紹介するなど「攻めの農林水産業推進」に大きく貢献しています。
		株式会社マエダ	自ら率先して県産品を大量に取り扱い、特に地元下北の産品を積極的に地域外へ販売するなど「攻めの農林水産業」の推進に大きく貢献しています。
		株式会社 スーパーカケモ	生産者の直売コーナーを県内で最も早く導入したほか、県内の食品企業との連携によるプライベートブランド商品を多数開発し、販売するなど「攻めの農林水産業」の推進に大きく貢献しています。
20年度	特別貢献賞	ニッカウキスキー 株式会社弘前工場	県産りんごを原料としたシードルを核に、ブルーベリーや梅をはじめとする県内各地の特産品を活かした果実酒を数多く製造し、全国販売はもとより地産地消にも積極的に取り組んでいます。
25年度	「地域貢献」 特別賞	有限会社十美商事	トレーサビリティシステムの確立により消費者の信頼を得て販売額を拡大しているほか、農家と協定を結び、安全・安心にこだわって生産した農産物とその加工品を「十和田美人」シリーズとしてブランド化するなど、農業者の所得向上はもとより、地域経済全体の発展にも大きく貢献しています。